

第1回 たま エンド・オブ・ライフ・ケア交流会 が開催されました

2014年3月8日(土)14時～16時、国立看護大学校（東京都清瀬市）において、第1回目の「たま エンド・オブ・ライフ・ケア交流会」が開催されました。今回は、病院、訪問看護ステーションなどの看護職の方々42名のご出席を頂き、参加者同士の顔を知り、今後の課題や要望を語り合うことを目的としました。主な内容を紹介し



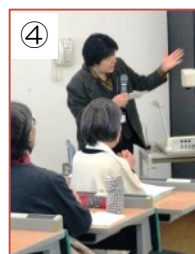
① 本交流会代表からのご挨拶
交流会開催の経緯・趣旨について、説明がありました。
(救世軍清瀬病院
看護部長 笠原嘉子)



② アンケート調査報告
「病院および訪問看護ステーションの看護師の
エンド・オブ・ライフ・ケアに関する地域交流会開催のニーズ」調査結果の説明
がありました。
(国立看護大学校
教授 綿貫成明)



③ 「エンド・オブ・ライフ・ケアの概念について」
歴史、定義、考え方についての講義がありました。
(救世軍清瀬病院
緩和ケア認定看護師
大石恵子)



④ グループでの話し合い
参加者はグループに分かれ、各自の職場の現状を紹介し合いながら、和やかな雰囲気の中で話し合いました。話し合った内容について、日々の実践で感じる困難や課題、地域連携で工夫していることなどを参加者全員で共有しました。
(司会・ファシリテーター：
国立看護大学校 教授 飯野京子)



参加者の感想

「さまざまな方と交流でき、他施設の機能や役割を理解できた」
「各施設の現状、他施設への要望などが聞いてよかった」
「お互いの『顔』を知ることが、地域の交流と連携の充実のきっかけになると思った」

次回のご案内

日時：2014年7月5日(土)14時～16時
場所：国立看護大学校
テーマ「地域連携の工夫」
訪問看護ステーションの方から話題提供して頂く予定です。
詳細はホームページ <http://tama-elc.umin.ne.jp/>にも掲載します。



メンバー一同、次回もお待ちしております。

企画準備・受付・グループワークファシリテーター・写真撮影 等
笠原嘉子・大石恵子・相良君映・高橋敏子（救世軍清瀬病院）
河正子（NPO法人緩和ケアサポートグループ）
中島朋子（東久留米白十字訪問看護ステーション）
飯野京子・山手美和・綿貫成明・小山友里江・宮田貴美子（国立看護大学校）